

## 防衛大学校70期卒業式/25HCDへの同窓会支援

### 概要

- ・ 令和8年3月14日(土)快晴の中、防衛大学校にて70期本科生、理工学研究科前期第63期、理工学研究科後期第22/23期、総合安全保障研究科前期第28期、総合安全保障研究科後期第15期生卒業式が挙行。国会議員30人が参列し、25期HCD155名も参観し、高市総理、小泉防衛大臣、北岡JICA理事長来賓の祝辞、久保学校長ご勇退前の最後の式辞が華を添えた盛大な卒業式典後、陸海空自衛隊制服に着替えた卒業生は、高市総理に直接宣誓し、防衛大臣が観閲する観閲式と午餐会に参加。
- ・ 丸茂会長が同窓会を代表して卒業式午餐会と25期HCD懇親会にて祝辞を上程。

(会長随行支援： 宮本、西川、田中、松坂)



卒業式後の帽子投げ



陸上165,海上82,航空82名が高市総理に直接宣誓



午餐会での祝辞

## 卒業式典における印象的な事柄

全 般	今年の印象的な事は、高市総理が任官する陸海空幹部候補生の宣誓文を直接受け取り握手して激励されたこと、小泉大臣の具体的なエピソードに基づく卒業生への激励と午餐会での全テーブル訪問、久保学校長の勇退前の思い。
久保学校長 式辞要旨	○今年の4年生の指導力で退校学生数が減少。公益性の高い職業に従事する誇りを持ち、「永遠の求道者」として人格陶冶、品格と徳性を磨く努力を実践されたい。暫くは辛抱の時代が続きますが、「自分達の可能性」を信じ、希望を持ち続けてください。ご家族の皆様おめでとうございます。在任間であった過去5年間のご支援に感謝。
高市総理 祝辞要旨	○中露北朝鮮の連携深化、無人機による新しい戦い方、長期戦への備えが進み、世の中の変化が急速化している中、2022年ウクライナ戦争勃発時に入校された70期生が部下の命を守り、柔軟な発想力と対応力を持てるよう研鑽され、国民の93.7%に支持されている自衛隊が命と平和な暮らしを守る砦となり、信頼と期待に応え続けることを期待。
小泉大臣 祝辞要旨	○先日、ブルーインパルス後部座席に乗った際、プロとしての技量と隊長からの「自分がいるから大丈夫」という言葉が安心感を与えてくれた。そんなリーダーシップ、フォロワーシップを発揮してください。 ○高校生の時に横須賀中央で楽しそうにしている防大生の姿を見て入校を決めたと言ってくれた隊員がいました。人の気持ちを動かす以上の変革はない。試練を乗り越え、卒業された皆さんを誇りに思う。大臣として一人ひとりの能力を発揮できる組織に変革していく。共に日本のために頑張ろう。（式典） ○祝賀会食の開始が遅れたのは、先ほど1時間半前に北朝鮮の弾道ミサイルが発射され、その対応のための記者会見をこの防衛大学にて行ったため。皆さんは、卒業の瞬間から、このような対応の最前線に立つこととなります。共に頑張りましょう。（祝賀会食）
JICA代表 北岡伸一氏 の祝辞要旨	○国際貢献にとってJICAと自衛隊は車の両輪。そんな思いから3年前より防大生のJICAへのインターシップを開始。 ○ウクライナ戦争により日本人が変わった。自衛隊は、何もしなくて評価されるのではなく、災害派遣で評価されるのでもなく、国を守る力として評価されるようになる。そんな最初の世代になるよう期待。
政務官激励	○「誰とも戦わないために強くなる」。そんな思いで自ら強くなってほしい。共に頑張りましょう。
卒業学生 答辞要旨	○共に泣き、笑い、励ましあった同期の存在が宝。今日が始まり。4年間で学んだものを核にして、覚悟をもって仲間と共にまい進していく所存。家族に感謝。
会長祝意	○皆さんは、卒業すると同時に全員が同窓生（笑）。同期生同志助け合ってください。

# 卒業式典の様相



久保学校長式辞



全員に卒業証書を授与



小泉防衛大臣祝辞



卒業生385名を代表した大村学生の答辞



宣誓文を受け取り握手する総理

# 観閲式の様相



女性学生隊指揮官の捧げ銃



陸海空自祝賀飛行



小泉防衛大臣による巡閲

# 25HCD活動様相



同伴者を含めて235名参加



同伴者も懇親会に参加



顕彰献花式での追悼



校内見学ツアーで学生隊舎見学

防大70期生卒業午餐会及び25HCDでの会長の活動



午餐会での祝意上程



HCD懇親会での祝杯



会長と対番学生(同窓会費支払済)



前会長と現会長 (横須賀セントラルホテル)